



牛が好きだから

全国和牛共進会の出品を真近にひかえた忙しいときに、木嶋泰洋（谷川）さんの牛舎を訪ねました。

日光地区の奥地で周辺には別荘地がある、風光明媚な山林の中にありました、木嶋さんの住居からは十キロメートルも離れており、毎日通ったり出産の時などは泊り込むことも度々とのことでした。

親が牛飼いをしていたため、子供の頃から自然に牛に触れていた、今では八十頭余りの繁殖牛を飼育し、一部肥育により一貫体系を目指し、美味しい肉質にするため、日夜研究に余念がない。

BSEが発生した時には、二年の肥育牛が買値の半分以下になり、本当に辛かった。しかし、その後価格も安定し好きな牛と一緒に生きていく。牧場として周辺の荒れた山林に放牧すれば一年できれいな里山が甦ってくる。

木嶋さんは「和牛で町おこし」を熱く話して下さいました。牛飼いは誰でもできる、元気な高齢者



手塩にかけた出品牛

にとって生きがいと、生活の糧になる、親・子・孫の三世代が役割を分担してやれば、安定した明るい家庭が築かれると。

木嶋さんの牛にかける情熱は自分だけでなく、多くの人達と和牛の町づくりを目指して、真剣で説得力のある熱い思いが伝わってきました。

全国和牛共進会でのご健闘をお祈りします。（十月二日取材）

編集後記

議会改革の一環として、九月定例議会より、一般質問の方式を変更しました。

従来の方式では、質問は三回以内と制限があり、総花的に終始していましたが、新しい方式は、一問ごとに、何回でも納得のいくまで、議論を深めることができます。

これによって、町民の代弁者（議員）としての声が、町政に強く反映できるものと考えます。町民のみなさまの率直な意見をいただけたら幸いです。（長谷川記）

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 大森 英一

副委員長 遠藤 俊寛

委員 幅田 千富美

中田 壽國

長谷川 盟

細田 栄

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

